

大会名 Competition	第36回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-106	Year Month Day Time 2023 年 5 月 4 日 9 : 00
場所 Place	能代市総合体育館

発行：能代市バスケットボール協会
http://ncup.snowland.net



チームA		チームB										
開志国際	<table border="1"> <tr><td>14 1st</td><td>18</td></tr> <tr><td>14 2nd</td><td>7</td></tr> <tr><td>15 3rd</td><td>10</td></tr> <tr><td>26 4th</td><td>12</td></tr> <tr><td>0 T</td><td></td></tr> </table>	14 1st	18	14 2nd	7	15 3rd	10	26 4th	12	0 T		中部大第一
14 1st	18											
14 2nd	7											
15 3rd	10											
26 4th	12											
0 T												
69 ○		47 ●										

主審:Crew chief
田村 高光 秋田
副審:Umpire
斎藤 文弥 福島
笹井 彪我 青森
テーブル・オフィシャル:Table officials
0

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	×	澤田 竜馬	cap	23	5	4	0	3	4	×	佐渡 樹也	cap	8	0	1	6	1
5	×	中島 遙希		15	2	4	1	3	5	×	外山 颯紀		4	0	2	0	2
6	/	フリッシュ ニコラス 聖		4	0	2	0	3	6		西村 謙慎		-	-	-	-	0
7	/	平良 奏龍		0	0	0	0	0	7	×	清水 祥敬		4	1	0	1	1
8	/	藤山 拓翔		0	0	0	0	0	8	×	ンベイエ ムハメド		17	0	8	1	4
9		遠藤 地紘		-	-	-	-	0	9	/	前田 凌侑		2	0	1	0	0
10	/	北村 優太		3	1	0	0	0	10	×	アグイ 要哉		0	0	0	0	0
11		北本 慶志		-	-	-	-	0	11	/	三浦 悠詩		2	0	1	0	0
12	×	千保 銀河		6	1	1	1	3	12	/	高橋 昇霖		0	0	0	0	0
13	×	平良 宗龍		7	1	2	0	2	13	/	渡辺 朋樹		8	2	1	0	0
14	×	NNEBUIFE KELVIN CHIEMELIE		11	0	3	5	2	14	/	遠山 瑞樹		2	0	1	0	2
15	/	SANNI OLUWASEGUN FARUK		0	0	0	0	0	15		トゥレ サリウ		-	-	-	-	0
16		矢作 悠吏		-	-	-	-	0	16	/	高岡 春吾		0	0	0	0	0
17	/	前田 ヘンリー 有聖		0	0	0	0	0	17		鶴澤 潤之介		-	-	-	-	0
18	/	小泉 俊介		0	0	0	0	0	18		住友 笑恵人		-	-	-	-	0
コーチ		富樫 英樹						0	コーチ		常田 健						0
アコーチ		津野 祐樹						0	アコーチ		西村 彩						0
合計				69	10	16	7	16	合計				47	3	15	8	10

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3Pポイントシュート 2P:2Pポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

Score ranking[Team]

1	23	33.33%	澤田 竜馬
2	15	21.74%	中島 遙希
3	11	15.94%	NNEBUIFE KELVIN CHIEMELIE

1	17	36.17%	ンベイエ ムハメド
2	8	17.02%	佐渡 樹也
3	8	17.02%	渡辺 朋樹

Score ranking[Game]

1	23	澤田 竜馬	開志国際	2	17	ンベイエ ムハメド	中部大第一	3	15	中島 遙希	開志国際
---	----	-------	------	---	----	-----------	-------	---	----	-------	------

留学生を擁し、全国の上位を狙う両チームの対戦は今大会でも屈指の好カードとなる。

1Q、中部大第一は#8ンベイエがポストアップから得点を重ねる。開志国際は、#5中島の速攻や3Pで加点し、一進一退の展開となる。残り2:20、中部大第一は#8ンベイエが個人2つ目のファールをしてしまうが、中部大第一のベンチは変えない選択。その#8ンベイエが残り5秒で開志国際#14NNEBUIFEからバスケットカウントを獲得。フリースローも決める3点プレイで14-18と中部大第一が一歩抜け出す形で1Qを終える。

2Qになると、両チームがディフェンスの強度を上げ、なかなか得点が入らない展開が続く。中盤すぎ、開志国際#6フリッシュがドライブで得点した21点目が均衡を崩すポイントとなり、開志国際はその後に逆転。#4澤田、#13平良が連続の速攻で28-25。ロスコアの接戦を開志国際の3点リードで前半を終える。

3Qも僅差の接戦が続く。残り2分を切った終盤に開志国際#4澤田が2本の3Pを決めて抜け出し、43-35とリードを8点まで広げる。

4Q、開志国際は、ベンチメンバーが上げる「ディフェンス」の声に応えるように激しいディフェンスを展開。中部大第一に得点を許さない。開志国際#12千保の3Pで一気に二桁の得点差にすると、ここから連続19得点で試合の大勢を決める。無得点が続いた中部大第一は#13渡辺が2本の3Pを決めるなど意地を見せるも得点差は縮まらず、69-47で開志国際が注目の一戦に勝利した。